

わが街みどりい

令和5年1月1日
第49号
発行
緑井学区社会福祉協議会
広報コミュニティ推進部
(090-6841-0161)



緑井学区社協のスタッフ

くのか、今、私たちが問われています。その答えを探る試みとして、社協では緑井学区内の各地域団体と今、社協組織の全面的な見直しの議論を進めています(このページ別記事参照)。今年度から広島市が進めている地域コミュニティ組織への新し

い支援策に呼応して、これまでの「町内会中心の社協」から「地域の各団体が対等の立場で連携し課題の解決に取り組む社協」へと再編しようというものです。将来とも持続可能な地域社会をつくるためには、何よりも「自分たちの街は自分たちで創り、守る」という意識が必要です。その上に住民同士の互助、共助の支えがあれば緑井はもっと素晴らしい街になるはず。次世代により良い「ふるさと・緑井」を引き継ぐため、今年度学区内の各地域団体との連携を一層深めていく年にしたいと思えます。ご協力の程よろしくお願ひします。

ご挨拶を申し上げます。さて、コロナ禍も3年となり、地域はじめ社会経済のあらゆる分野に今も深刻な影響が続いています。緑井社協の活動も、様々なイベント・行事の多くが中止となる中、今後の社協活動の在り方が問われています。これまで緑井社協の活動を中心となつて支えてきたのは5つの町内会でした。その町内会も、家族構成の変化、住民意識の変化などを背景に、加入率は全市平均と同じ5割強に低迷しているのが現状です。緑井学区は、地理的条件、居住形態、住民構成などを見てもまさに広島市全体の縮図のような街です。その緑井で今後とも町内会や社協といった基礎的な住民自治組織を維持しながら、将来にわたり持続可能な地域コミュニティをどうつくっていくのか、今、私たちが問われています。その答えを探る試みとして、社協では緑井学区内の各地域団体と今、社協組織の全面的な見直しの議論を進めています(このページ別記事参照)。今年度から広島市が進めている地域コミュニティ組織への新し

い支援策に呼応して、これまでの「町内会中心の社協」から「地域の各団体が対等の立場で連携し課題の解決に取り組む社協」へと再編しようというものです。将来とも持続可能な地域社会をつくるためには、何よりも「自分たちの街は自分たちで創り、守る」という意識が必要です。その上に住民同士の互助、共助の支えがあれば緑井はもっと素晴らしい街になるはず。次世代により良い「ふるさと・緑井」を引き継ぐため、今年度学区内の各地域団体との連携を一層深めていく年にしたいと思えます。ご協力の程よろしくお願ひします。

新年ご挨拶

緑井学区社会福祉協議会
会長 濱 本 康 男

新しい社協の姿を探る年に

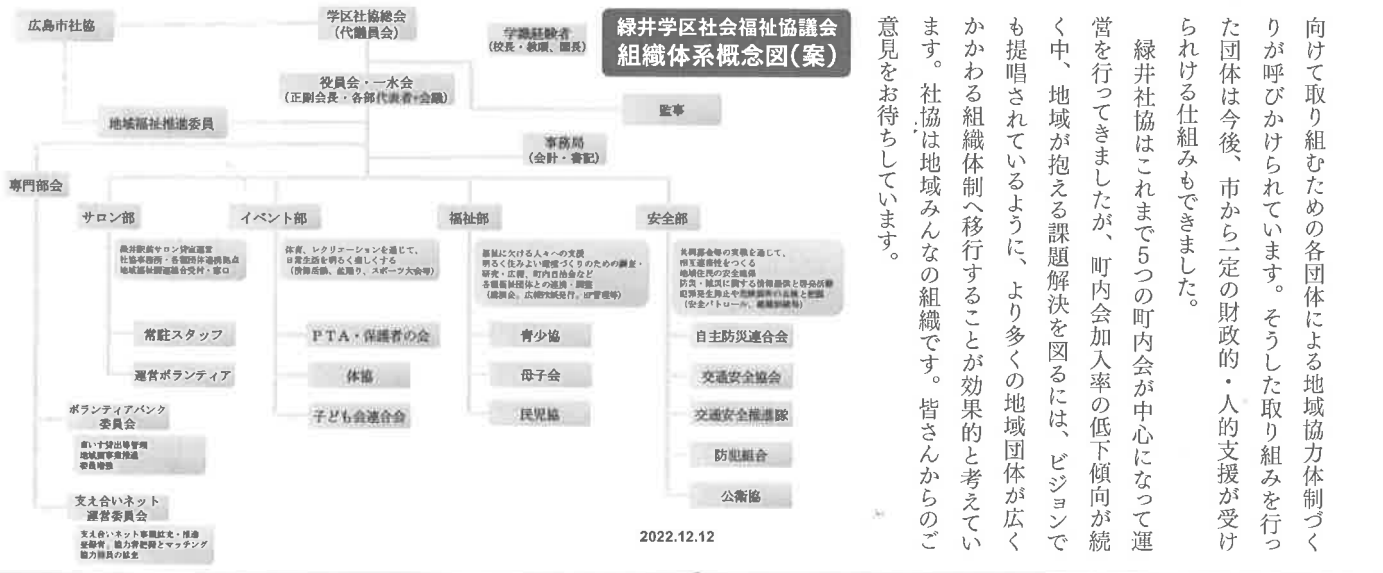
社協の組織見直しを検討 各部を各種団体で構成へ

新年度の実施目指す

緑井社協では、各種事業を分担する内部組織の大幅な見直しを検討しています。これまでは組織運営、広報コミュニティ、障害福祉、児童福祉、地域調整、高齢福祉などの6部に分かれ、部長には各町内会長などが就いていました。今回の見直しでは、社協の仕事を活動拠点の駅前サロンの運営のほか、イベント、福祉、安全の3分野に分類し、それぞれの分野にかかわりの深い学区内の各地域団体(PTA、体協、子ども会、青少年協、公衛協など13団体)が3分野のいずれかの組織に入つて事業を分担、実施する体制をとろうとするものです。これまで関係団体で3回の会議を開き検討し、最終的に合意できれば来年度からの実施を目指しています。

に向けて取り組むための各団体による地域協力体制づくりが呼びかけられています。そうした取り組みを行った団体は今後、市から一定の財政的・人的支援が受けられる仕組みもできました。

緑井社協はこれまで5つの町内会が中心になって運営を行ってきましたが、町内会加入率の低下傾向が続く中、地域が抱える課題解決を図るには、ビジョンでも提唱されているように、より多くの地域団体が広くかかわる組織体制へ移行することが効果的と考えています。社協は地域みんなの組織です。皆さんからのご意見をお待ちしています。



緑井学区社協 副会長 就任挨拶



子どもは地域の宝
世羅 令子

『子どもは地域の宝』と教えて下さったのが、今は亡き光田鈿会長（元全国民生委員児童委員連合会会長）でした。今から約二十年前、末の子が緑井小学校のバレーボールクラブで全国大会出場が決まったときのことでした。



川戸 正彦 中山 美保 吉岡 美代子 橋本 啓子 田邊 泰子
丸岡 直子 三森 裕子
新任の緑井地区民生委員・児童委員の皆様

地域を挙げての応援で、その中の会合で光田さんが言われた言葉でした。「この地域の方は、子どものことを本当に大事に思ってくださっている。」と痛感したものです。

その恩返しにと、主任児童委員の役職を引き受けました。コロナ禍の前は、地域の行事も活発で、町民運動会、盆踊りと、いろいろなところで地域の皆様と触れ合うことができました。しかし、ここ三年は思うように民生委員・児童委員としての活動ができず、心苦しい限りです。

その中でも、広報紙『きずな』を発行したり、公開講演会を開催したりと、試行錯誤をしながら取り組んできました。

三年に一度の二斉改選で、新しい顔ぶれで佐東南地区民生委員・児童委員協議会もスタートします。

支援を必要とされる方の『つなぎ役』になりネットワークで地域を支えていきたいと思えます。

『困ったときには、相談できる誰かがいる。』どうぞお気軽にお声かけください。

緑井学区社協 副会長 退任挨拶

阿佐 巖

緑井学区社協副会長をこの度退任させていただくことになりました。

地元民生委員・児童委員として昭和六十年より三十六年間勤めさせていただきましたが、このたび民生委員・児童委員を退任させていただきますと同時に社協役員も退任させていただくことになりました。

後任としては八敷にお住いの世羅令子佐東南地区民生委員・児童委員協議会副会長が引き継ぐことになりました。

この間、皆様のご指導、ご協力を得ながら無事勤めることが出来ましたことは幸せでございました。

これからは社協の一員として、緑井地区の社会福祉協議会活動に協力させていただきますので、従来に変わらぬご指導を賜りたく存じます。

受賞おめでとうございます

次の団体、個人が、永年にわたる地域への貢献により表彰されました。受賞おめでとうございます。

広島県社会福祉協議会会長表彰
緑井学区社会福祉協議会

広島市社会福祉協議会会長表彰
鈴木 順二（中組町内会）

安佐南区社会福祉協議会会長表彰
吉岡 一司（岩谷町内会）
松浦 馨（日吉町内会）

広島市城山北・城南地域包括支援センターの紹介

広島市城山北・城南地域包括支援センターは、川内・緑井・梅林・八木学区にお住いの方の相談窓口です。概ね65歳以上の方が、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるように支援を行っています。

介護について

- ・介護保険の手続きをしたい
- ・デイサービスやヘルパーについて知りたい
- ・歩行器や杖を使いたい

健康や暮らしについて

- ・一人暮らしが心配
- ・車の免許証を返したけど、買い物に困るようになった・・・



いきいき100歳体操、見守り支援事業について

- ・近所に体操ができる教室はないかしら？
- ・見守り支え合い事業ってあったわよね？

消費者被害や権利、財産、高齢者虐待の早期発見・防止

- ・消費者被害にあつたみたい！どこに相談したらいい？
- ・よく怒鳴り声が聞こえる。もしかして虐待かしら？



広島市城山北・城南地域包括支援センター

TEL：082-831-1157

〒731-0103

安佐南区緑井六丁目37番5-102号

(七軒茶屋下り線 バス停横)

(営業時間：8時30分～17時30分 土日祝日を除く)



『緑井駅前サロンで ほっと(認知症)カフェ始めました』

認知症の方、その介護に当たっている家族の方、認知症について理解を深めたいという方などを対象にした認知症カフェを、11月から始めました。当面は毎月1回の開催とし、場所は緑井駅前サロンで行います。

本人や家族が認知症についての悩みなど情報交換しながら楽しいひと時を過ごすとともに、認知症についての正しい理解を深めてもらおうとするものです。認知症について知りたい、予防法を知りたいという方も歓迎です。

1月と2月の開催日は1月17日(火)、2月21日(火)で、いずれも午後1時から3時まで。3月以後は毎月第3火曜日に開催します。参加費は一回一人100円、当日は直接会場にお越しください。

問い合わせ090-4898-3640、緑井駅前サロン運営スタッフ梶川さんまで。



梶川(左から2番目)さんと、地域包括支援センターの皆さん



GG大会の熱戦の様相

Gゴルフ(3ゲーム)と囲碁の成績は次のとおり。(敬称略)
 [Gゴルフ男子] ①阿佐弘毅55 ②川井武夫55 ③中野隆司58
 [Gゴルフ女子] ①渡辺英子58 ②今村輝子62 ③吉河則子62
 (数字は合計スコア、同点者は2打の差)
 [囲碁] 優勝 上土井弘之

コロナ感染対策としてグラウンド・ゴルフ大会の出場者は今回は各町内会とPTAにとどめ、喫茶コーナーなども設けませんでした。恒例の太田川学園の椎茸や新鮮野菜の販売のほか、包括支援センターの

電動カートや福祉用具の試乗展示も十一月三日(祝)、秋晴れの下、学区親善「ふれあい広場」を緑井小学校・幼稚園を会場に開催しました。コロナ禍が続いており今年の開催も心配されましたが、「少しでも地域行事を再開していこう」という学区の皆さんの後押しで、3年ぶりの開催になりました。

グラウンド・ゴルフや囲碁大会 3年ぶり「ふれあい広場」開催 電動カートや福祉用具の試乗展示も



今年も椎茸販売が好評



表彰式の様子



電動シニアカーに試乗



囲碁の様相

事業紹介、福祉車両・器具展示試乗コーナーなどを開設。グラウンド・ゴルフには5地区から90人、囲碁には4人が参加し、熱戦を繰り広げました。今年初めて行った福祉車両の展示試乗では、参加者のほかに当日会場を訪れた斉藤国土交通大臣が電動カートに試乗され、質問や意見交換されるなど賑わいました。

緑井幼稚園で芋掘り

10月28日、緑井幼稚園の園児が、さつまい芋の収穫を体験しました。今年、社協が緑井幼稚園に協力を行いました。初めての大きな大きなお芋に、子ども達からは大歓声があがっていました。後日、収穫したさつまい芋で芋汁会を開きました。自分達で育てたお芋の味は格別だったようです。



※緑井幼稚園では、令和5年度園児募集中です！
詳しくは、幼稚園のホームページをご覧ください。

緑井小学校で環境整備

10月15日、地域の方々、保護者の皆さんによる緑井小学校の環境整備が行われました。グラウンドや校舎周り、プール周辺などの草抜きや土あげ、清掃等を行いました。

学校中がきれいになり、「参加された皆さんの緑井小学校へのあふれる愛を感じました」と先生方、子ども達は喜んでいました。ありがとうございました。



緑井小学校で環境整備の様子